

国の成長力・国際競争力向上に貢献する ICT分野の研究開発戦略

～重点的に推進すべき技術分野と国際展開戦略～

平成21年10月28日
日本電信電話株式会社
研究企画部門
端山 聡

経済・社会問題

- 世界経済の低迷
 - 地球環境問題
 - 少子高齢化
 - 国際競争力の低下
- ：

情報通信技術
(ICT)の活用
による対応

情報通信の変化

サービスの融合

放送と通信、家電とネット、自動車とIT、...

所有から利用へ

SaaS、クラウドコンピューティング...

利用者中心

参加型サービス、サービスのパーソナル化...

業種やレイヤー、
国境を越えた競争

国の成長力・国際競争力の源泉
としてICT分野のR&Dが重要

日本のICTインフラ普及は世界一、産業自体のGDP成長への寄与率も高いが、ICTサービスの社会への普及は遅れているのが現状である。

例えば、、、

行政

- 電子政府ランキング
世界11位
- 住民基本台帳カード
普及率： 1.5%



出典：国連World Public Sector Report
出典：総務省 住民基本台帳カードの利用状況

医療

- 電子カルテ導入率
病院：10.5%
診療所： 10.1%



出典：JAHIS、新医療共同調査
(2008年度)

教育

- eラーニングランキング
世界24位
- 大学での遠隔講義
実施率： 18.2%

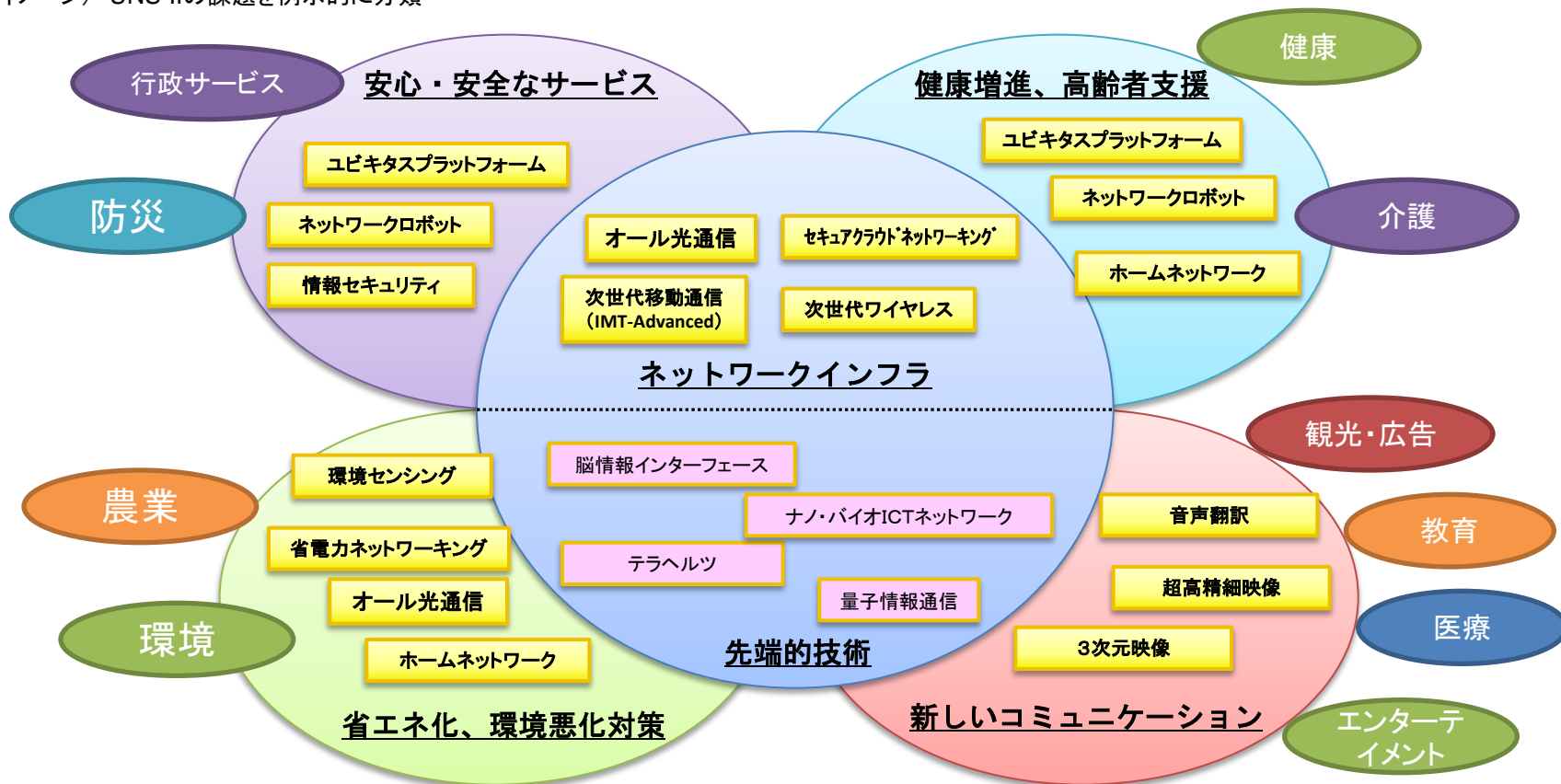


出典：e-Learning Readiness Ranking
出典：メディア教育センター eラーニング等のICTを活用した教育に関する調査報告書

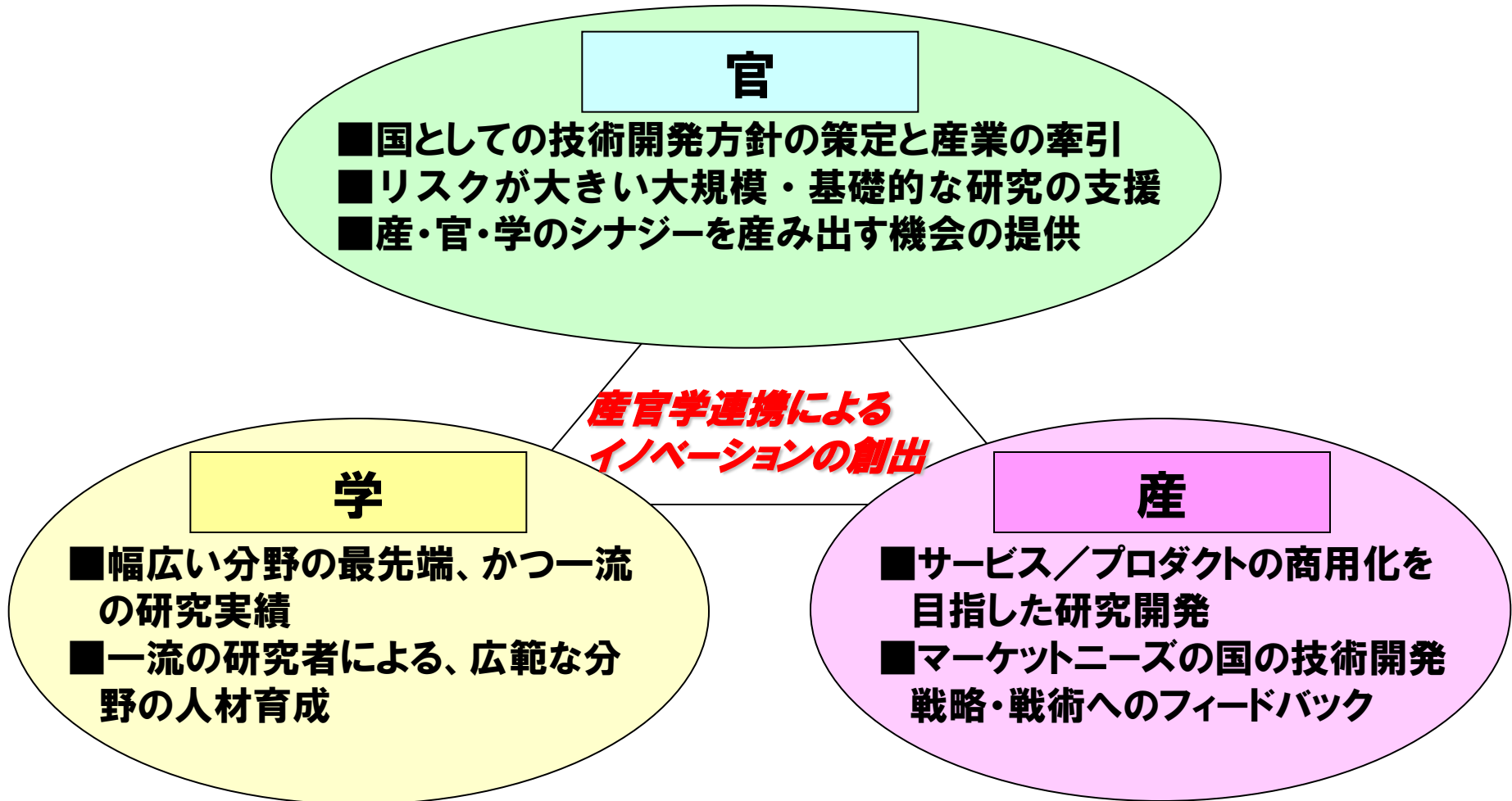
ICTサービスの社会への普及に向けた取り組み

- ICTサービスの社会への普及に向けては、ブロードバンド・ユビキタスネットワークの構築と、その上で展開されるアプリケーションの両輪の発展が必要である。
- UNS研究開発戦略プログラムIIで網羅的に抽出された重点課題について、産官学それぞれが何をなすべきかを明確にし、国全体でR&Dを推進すべき。

(イメージ) UNS-IIの課題を例示的に分類



- 各機関の特徴や強みを生かしたオープンイノベーションにより、トータルなICT力を強化していく必要がある。



- 企業としてリスクの負担が困難な大規模な研究テーマに対して、産学への戦略的な支援、および課題解決・普及を推進するための旗振りと場の提供(フォーラム、テストベッド)を官に期待する。

クラウドコンピューティング基盤

CO2削減／グリーンICT(of ICT/by ICT)

新世代ネットワーク

国の成長力・国際競争力向上のために強化が必要な産業横断的基盤技術

長期的視点で将来に向けて取り組むべき基盤技術

R&Dの国際展開は技術だけでなく下記①～③の3つの軸を有機的に結合したフレームワークをベースに取り組むことが重要である

①研究成果(プロダクト)の展開、②国際標準化、③技術の普及・仲間作り

研究成果(プロダクト)の展開活動

- ・ベンダー・キャリア・国が連携したビジネス展開
- ・現地の国情・制度等に配慮したプロモーション
- ・必ずしも最先端技術にこだわらない、容易にカスタマイズ可能なシステム開発

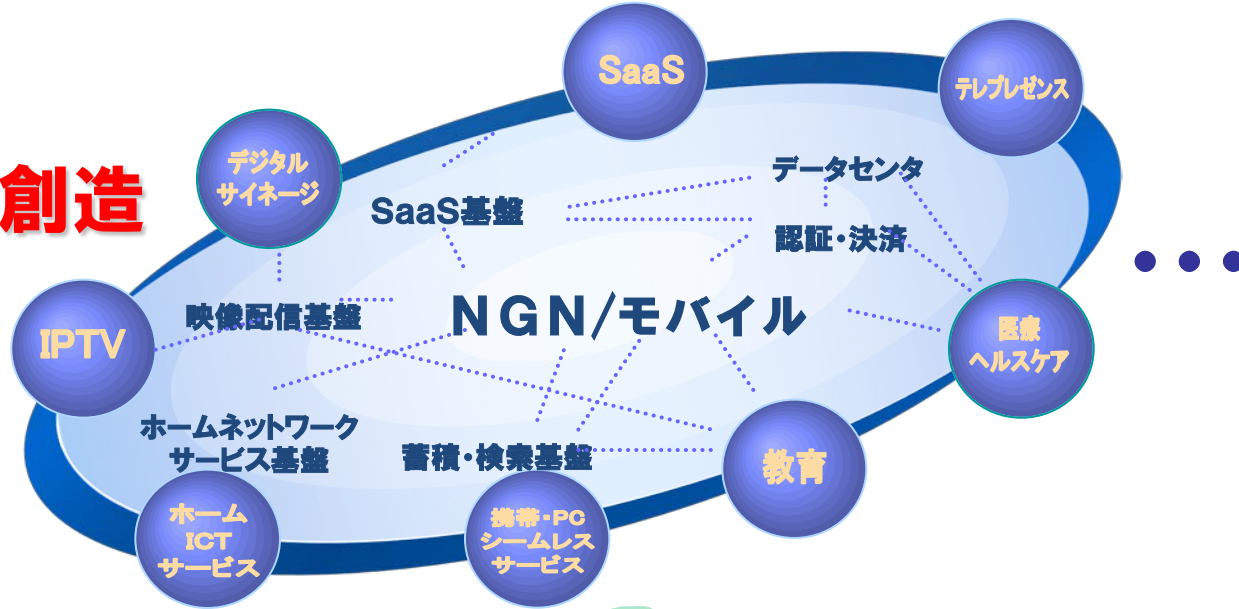
- ・名より実を得る戦略的な標準化活動
- ・活動に資する中長期的人材育成
- ・知財戦略との連携
- ・アジア地域内の仲間作り(共通する要求条件の標準化への反映)

国際標準化活動

- ・現地ベンダー、キャリアとの共同研究
- ・アジアを中心とする技術研修生受け入れ、 세미나・フォーラムの開催

技術の普及・仲間作り

サービス創造



グローバル

つなぐ。環境
それは、
ECC 